

社会福祉法人ヴィオラ

令和5年度 事業計画

法人本部

福岡県久留米市津福本町 1300 番地 1

すみれ

(特別養護老人ホームすみれ・すみれショートステイサービス)

福岡県久留米市津福本町 1300 番地 1

つぼみ

(小規模多機能型居宅介護 つぼみ・ケアホームつぼみ)

福岡県久留米市津福本町 2010 番地 1

1. 理念・品質方針

(1) 基本理念

あなたの笑顔のために・・・

あなたの大切な人と共に・・・

「最後まで自分らしく」

(2) 品質方針

地域住民を始め高齢者の安心・安全を図り、地域への理解に努め、思いやりの心を持ち、福祉介護を通じ信頼される事業をめざし、奉仕の精神で昼夜努力します。

【運営方針】

常に思いやりの心を持ち、地域との交流の中で地域社会に信頼される事業を目指します。

【方針】

施設を利用される皆様の意見と立場を尊重した真心介護を行います。

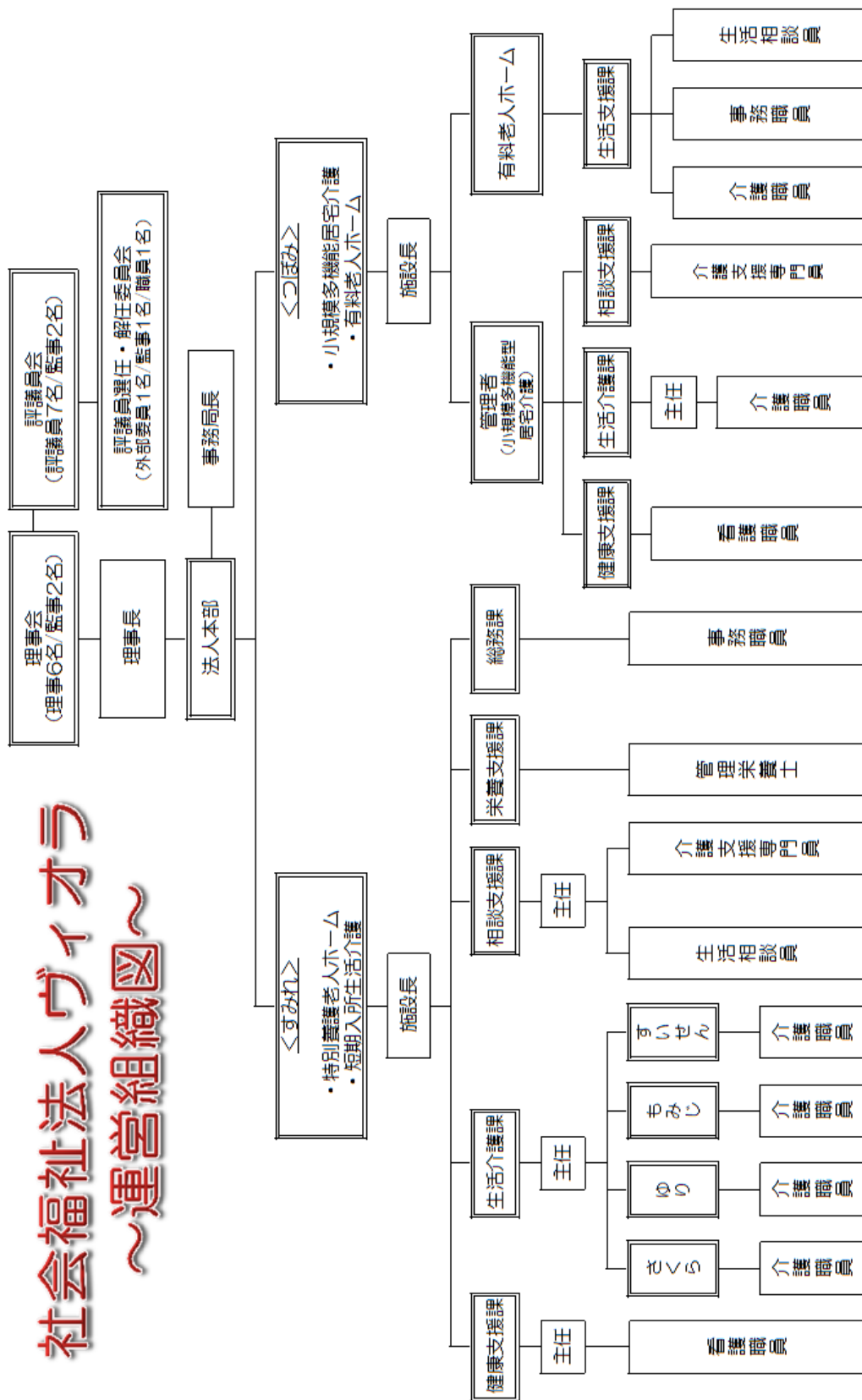
私たち職員相互が信頼・協力し合い、福祉介護の質の向上に努めます。

【私たちの使命】

ご利用者様が笑顔で生活されているかを常に心がけます。

私たちの笑顔と愛情を持ってご利用者様と寄り添います。

2. 社会福祉法人ヴィオラ運営組織図



3. 令和5年度 事業計画作成について

新型コロナウイルス感染症の感染法上の分類が5月から季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下がることになりました。感染者の外出自粛や医療費の負担、マスク着用、医療機関への受診など、これまでと対策が大きく変わります。介護施設では、面会や外出、職員の行動制限を緩和することにより感染・クラスター発生とならないよう感染対策の徹底が求められます。そのために、日頃の感染対策を徹底し、感染が発生しても業務が継続できるよう訓練を実施していきます。しかしながら、ご利用者様の心身の状況を考え、施設での娯楽活動を活発にし、ご利用者様とご家族様が一緒に過ごせる時間を大切にしていきたいと思います。

また、ご利用者様が入居前の暮らしを入居後も継続できるよう、入居前のしっかりとした聞き取りと入居直後のしっかりとした関わりに力を入れ、その人らしさを引き出していきたいと思います。そして、ご利用者様がその人らしい最期を迎えることができるよう、ご家族様と協力しながら看取りケアを実施していきます。

介護業界全体は、慢性的な人材不足となっていますが、職員の働きやすい職場環境を構築し、意欲的に働ける、魅力ある事業所作りを行っていきます。そのために、ハラスメント対策を強化し、一人ひとりの当事者意識を高め、職員の学習意欲向上を目指し、一人ひとりの目標や課題にあった研修を充実させていきます。そして、すでに導入しているテクノロジーを有効活用することにより介護サービスの質の向上及び業務効率化の推進をしていきます。

4. 法人内共通項目

事業経営の重点項目と具体的展開

(1) 財務の安定と自由度の高い経営

- ・ 稼働率 UP を図り事業収入の増加を目指す。
- ・ 太陽光発電導入による原価低減を目指す。
- ・ 毎月の適切な予算管理を実施し、財務の安定を目指す。

(2) 災害時でも安定したサービスが継続できる組織作り

- ・ 感染対策の徹底と感染が発生した場合を想定した訓練（シミュレーション）の実施。
- ・ 風水害等を想定した訓練（シミュレーション）に外部の方にも参加していただき、外部との連携や訓練の質の向上を目指す。

(3) その人らしく過ごしていただく環境作り

- ・ 地域やご家族様と連携し、社会との関わりの中で QOL の向上を目指す。
- ・ 入居前後の情報収集やご利用者様との関わりを密にし、その人らしさを引き出す。
- ・ その人らしい「看取り」を行うために、日頃からのケアの質の向上とご家族様との連携体制を確立する。

(4) 職員が働きやすく、魅力的な体制づくり

- ・ ハラスメントの学習と当事者意識の醸成を図る。
- ・ 一人ひとりの目標や課題と関連した研修に積極的に参加し、成長する組織を目指す。
- ・ テクノロジーを活用した情報収集や分析を行い、サービスの質の向上と業務効率化を目指す。

5. 会議・委員会

(1) 法人全事業

会議・委員会名	開催目的	開催期日
経営会議	法人全体の連絡・調整、1/4 期決算報告	年 4 回
	理事長、施設長、管理者、事務長	
第三者委員会	第三者委員にご利用者様からの要望・苦情を報告し、事業者の評価とサービスの向上・改善の指導を仰ぐ	随時
	第三者委員、理事長、各施設長、各管理者、事務長、各苦情窓口担当者	
給食委員会	給食の嗜好調査、改善、特別食の企画、職員研修企画	月 1 回
	各施設長、事務長、管理栄養士、看護職員、介護職員、事務職員、委託業先職員	

(2) すみれ

会議・委員会名	開催目的	開催期日
ユニットリーダー会議	施設全体、ユニット間での連絡・調整・サービス改善検討、記録・見守りセンサー等の見直し、職員研修企画など（※5,8,11,2 月は研修）	月 1 回
	ユニットリーダー、介護主任、（必要に応じて、施設長、介護支援専門員、看護職員）	
サブリーダー会議	サブリーダーとしての在り方やケアに関する研修	3 ヶ月毎
	介護主任、ユニットサブリーダー	
ユニットミーティング	ユニット内での連絡・調整・サービス改善検討、職員研修など	月 1 回
	ユニット所属職員、介護主任、施設長、介護支援専門員、看護職員	
運営推進会議	すみれに関する活動状況等を報告し、運営推進会議の委員から評価、要望、助言等を受け、サービスの質の向上及び適切な運営の確保	奇数月
	施設長、施設職員、久留米市職員、久留米市地域包括支援センター職員、地域の方、ご利用者様、ご家族様	

サービス担当者会議	ご利用者様、ご家族様、多職種によるケアプランの検討や見直し	随時
	介護支援専門員、管理栄養士、看護職員、介護職員、ご利用者様、ご家族様	
入居検討委員会	入居申込者の入居の必要性を評価し、優先順位を決定する	年2回
	施設長、事務長、生活相談員、介護主任、看護職員、介護支援専門員、地域の方	
医療安全管理委員会	医療に係る安全管理のための事例検討、医療事故防止、職員研修企画	月1回
リスクマネジメント委員会	事故予防・防止マニュアルの見直し、事故報告の分析・改善策検討、職員研修企画	
レク行事委員会	クラブ活動・行事の企画実施	月1回
身体拘束排除委員会	身体拘束廃止の現状把握・改善策検討、職員研修企画	偶数月
接遇委員会	接遇の見直し、職員研修企画	
感染症対策委員会	感染の調査・予防・監視・指導、感染症発生時の措置、職員研修企画	偶数月
美化委員会	施設内外の設え、清掃、園芸の実施・指導	
褥瘡予防委員会	褥瘡予防マニュアルの見直し、褥瘡予防の実施・監督・指導、褥瘡ができた場合の措置、職員研修企画	奇数月
入浴排泄委員会	ケアに関する物品検討、入浴・排泄ケアの見直し、職員研修企画	
看取りケア委員会	看取りケア指針・マニュアルの見直し、看取りケアの検証・教育、職員研修企画	偶数月
防災委員会	防災訓練、点検、防災に関する指導	奇数月
研修委員会	職員研修の計画立案、各委員会・外部研修受講者による研修のバックアップ	3ヶ月毎
広報委員会	ご家族様・施設関係者・地域の方への広報誌発行、ホームページ更新	3ヶ月毎

(3) つぼみ

会議・委員会名	開催目的	開催期日
運営推進会議	つぼみに関する活動状況等を報告し、運営推進会議の委員から評価、要望、助言を受け、サービスの質の向上及び適切な運営の確保	奇数月
	管理者、職員、久留米市職員、久留米市地域包括支援センター職員、地域の方、ご利用者様、ご家族様	
サービス担当者会議	ご利用者様、ご家族様、多職種によるケアプランの検討や見直し	随時
	介護支援専門員、関係職種職員、ご利用者様、ご家族様、関係事業所職員	
職員会議	職員間での連絡・調整・サービス改善検討	月1回
	全職員	
リスクマネジメント委員会	事故予防・防止マニュアルの見直し、事故報告の分析・改善策検討、職員研修企画	月1回
身体拘束排除委員会	身体拘束廃止の現状把握・改善策検討、職員研修企画	3ヶ月毎
感染症対策委員会	感染の調査・予防・監視・指導、感染症発生時の措置、職員研修企画	3ヶ月毎

(4) その他

項目	開催期日
防災訓練（総合）	4月・10月
防災訓練（水害）	7月
防災訓練（緊急連絡伝達訓練）	1月
防災訓練（部分）	随時
災害訓練研修（業務継続）	11月
職員健康診断	6月・12月

6. ユニット型地域密着型介護老人福祉施設 (特別養護老人ホームすみれ)

(1) 施設サービス

① 全体

【年度目標】

- ・ 目標稼働率 99.1%を目指す。
- ・ ご利用者様の QOL 向上を目指す。

【実施計画】

- ・ 医療機関や居宅サービスなどの外部と連携し、スムーズな入退居を目指す。
- ・ 感染対策を徹底した上でクラブ活動や外出行事を実施する。
- ・ 施設内外の研修を積極的に取り組み、知識・サービスの向上を目指す。

② リスクマネジメント/医療安全管理委員会

【年度目標】

- ・ リスクに対する知識を深め、未然に防げる事故を減らす。
- ・ 重要度の高い事例は、ユニットミーティングや委員会を活用し事例検討を行い、重大な事故や頻度の高い事故の再発を防ぐ。

【実施計画】

- ・ 小さな事例でも、ひやりハットを出し、その場ですぐに対策を検討し合い、ユニットミーティングで更に検討する。
- ・ 全体研修やユニット内研修に KYT 訓練を取り入れ、危険予知能力を向上させる。
- ・ 事故報告書の様式を変更し、事故の重要度別に分析できるようにし、様々な角度から事故分析を行い再発防止する。

③ 身体拘束排除/接遇委員会

【年度目標】

- ・ 身体拘束や虐待の理解を深め、実践に活かし、些細なスピーチロックもない施設を目指す。
- ・ 職員全員が自ら笑顔であいさつをし、適切な言葉遣いや身だしなみを身に付け、明るい職場環境を作る。

【実施計画】

- ・ 全体研修を通して知識を身に付け、不適切なケアにならないよう、声のかけ方や接し方を共有する。
- ・ 委員会やユニットミーティングや全体研修などで、普段のケアを振り返り、問題はないか、改善点はないか検討する。
- ・ 委員が見本となり、言葉遣いや身だしなみのチェックを日常的に実施する。
- ・ 3ヶ月に1回あいさつ巡回を実施し、心地よいあいさつを徹底する。

④ 感染症予防/美化委員会

【年度目標】

- ・ 感染が発生した場合でも拡大させない。
- ・ 室内を清潔にし、ご利用者様や職員が過ごしやすい環境を作る。

【実施計画】

- ・ 研修や訓練（シミュレーション）を行い、感染発生時の適切な対応ができるようにする。
- ・ 手洗い、アルコール消毒、室内温湿度及び体調変化の管理等をご利用者様だけでなく、職員についても徹底する。
- ・ 2ヶ月毎の美化巡回チェックを実施し、特にリビングの食事スペースは常に清潔を保つ。
- ・ ベッド柵やベッドフレーム、車いすや洗面台等もこまめに清掃を行い、居室環境を整える。

⑤ 褥瘡予防/入浴排泄委員会

【年度目標】

- ・ OH スケールを活用し、褥瘡予防・早期発見に努める。
- ・ ご利用者様それぞれにあったポジショニングを行い、褥瘡のリスクを軽減する。
- ・ ご利用者様の状態に合わせた排泄介助、排泄用品の選択を適宜見直し、快適な生活を目指す。
- ・ 日々の入浴介助を通して、皮膚状態・爪の状態等を観察し、適切なケアにつなげる。

【実施計画】

- ・ 入浴時に全身の皮膚状態を確認し、OH スケールの点数が高くなった方は要観察対象者として、情報共有を密にして早期対応を行う。
- ・ ユニット研修を活用して、ポジショニングの方法について検討する。

- ・ ご利用者様の身体状況を日々観察し、状態変化に合わせた排泄用品・排泄方法、排泄タイミングを変更していく。
- ・ 委員が、爪切り確認表で2週毎に爪の状態をチェックする。

⑥ 看取りケア委員会

【年度目標】

- ・ ご利用者様やご家族様の意向に沿った終末期が過ごせるよう、全職員一丸となって看取りケアに取り組む。
- ・ ケア方法の統一を行い、職員が不安なく看取りケアができるようになる。

【実施計画】

- ・ ご利用者様やご家族様の意向確認を行い、小さな状態の変化も見逃さず、日々の情報共有を行う。
- ・ 研修を通して知識を深め、ケアの統一が図れるよう書式を見直す。

⑦ 防災委員会

【年度目標】

- ・ 訓練を通して水害計画を見直し、水害に備える。
- ・ 災害時の職員安否確認・連絡体制を確立する。

【実施計画】

- ・ 水害時の避難訓練を実施し、マニュアルの問題点を検討し、改善を行う。
- ・ 緊急連絡伝達訓練を実施し、緊急連絡体制の確認を行うことで、緊急時にスムーズに連絡ができるようになる。

⑧ 研修委員会

【年度目標】

- ・ 外部講師による研修がより良い内容になるよう研修委員が中心となって準備を行う。
- ・ 全体研修の講師に ZOOM 活用の指導ができるように、研修委員が ZOOM の学習を行う。
- ・ 全体研修の質を向上させ、研修への意欲向上・スキルアップにつなげ、日々の業務に活かせるようにする。

【実施計画】

- ・ 外部講師と打ち合わせ前に、内部でしっかり内容を検討し、3ヶ月かけて準備を行う。
- ・ 各部署において、研修参加の有無や報告書提出の有無、内容、要望について研修委員が確認・記録を行い、今後の研修に活かす。

⑨ 広報委員会

【年度目標】

- ・ 広報誌やホームページを通して、施設と地域の架け橋となるよう、施設や施設サービスのPRに取り組む。

【実施計画】

- ・ 3ヶ月に1回広報誌（ヴィオラ便り）をつぼみと協働で発行し、施設の日常・行事等の活動やご家族様に役立つコラム等を掲載し、利用されている施設だけではなく法人全体について知っていただく。

（2）栄養（食事サービス・栄養ケアマネジメント・委託調理）

【年度目標】

- ・ ご利用者様のニーズを把握し、一人ひとりに適した安全で喜ばれる食事、イベント食を提供する。
- ・ ユニットケアを活かした食の充実を図る。
- ・ 委託会社と連携し、給食内容の充実、厨房内とユニットキッチンの衛生管理を徹底し、食中毒の発生を防ぐ。また、災害時や感染発生時でも食事内容の変更などを柔軟にできるような体制を整える。

【実施計画】

- ・ 毎日のミールラウンドで残菜を確認・評価し、月1回厨房責任者（管理栄養士）と施設管理栄養士でミーティングを行い、新メニューやメニュー改良に活かす。
- ・ 年2回の嗜好調査を実施・集計し、献立作りに活かす。
- ・ ラーメンフェスタや海鮮丼、刺身定食など定期的に食のイベントを行い、食の楽しみを感じて頂く。
- ・ 衛生確認表を毎月確認し、厨房責任者（管理栄養士）と施設管理栄養士で情報共有を行う。
- ・ 緊急災害時や、感染発生時などに必要な物品を把握し、補充・入替を行う。

(3) 行事スケジュール

月	行事名	開催内容
4月	- 避難訓練（地震・火災） - 花見	- 夜間帯の有事を想定して訓練を行い、被害の拡大防止に備える。 - 花見や中庭などで過ごして頂き楽しんで頂く。
5月	菖蒲湯	入浴時に菖蒲湯を楽しんで頂く。
6月	ラーメンフェスタ	本格的なラーメンを楽しんで頂く。
7月	- 避難訓練（水害） - 七夕	- 浸水を想定して訓練を行い、被害の拡大防止に備える。 - 短冊に願い事を書き、笹に取り付け、季節を感じて頂く。
9月	敬老会	ご利用者様の長寿のお祝いをする。
10月	避難訓練（火災）	夜間帯の有事を想定して訓練を行い、被害の拡大防止に備える。
11月		
12月	- 冬至風呂 - クリスマスバイキング	- 入浴時に柚子湯を楽しんで頂く。 - クリスマスのおやつバイキングを楽しんで頂く。
1月	初詣	新年の祝いと1年の健康と幸せを祈る。
2月	節分	豆まきを行い、節分を祝う。
3月	ひな祭り	甘酒と和菓子でひな祭りを楽しんで頂く。

この他、各ユニットにて外出レクリエーション、誕生会等を実施する。

クラブ活動：（毎月）娯楽クラブ（カラオケ、映画鑑賞など）

運動クラブ（体操、ゲームなど）

7. 短期入所生活介護サービス（すみれショートステイサービス）

【年度目標】

- ・ ご利用者様にまた来たいと思って頂けるようなサービスを実施し、平均稼働率96%を目指す。
- ・ 職員全員が情報共有を徹底し、ケアの統一を図る。

【実施計画】

- ・ 丁寧で心地よい挨拶や言葉遣いを心掛け、気持ちよく利用して頂くと共に、安心して過ごせるように、ご利用者様との信頼関係を築く。
- ・ ご利用者様の日頃のご自宅での状態やショートステイでの様子に相違がないか、ご家族様と情報共有を図り、職員全員に周知する。
- ・ 居宅ケアマネジャーとの情報共有を図り、ご利用者様が安心して過ごせる環境作りを行う。
- ・ 職員一人ひとりが得た情報やご利用者様のご利用時の小さな変化を全職員で共有できているか確認し、ケアが統一できるようにする。

8. 住宅型有料老人ホーム（ケアホームつぼみ）

【年度目標】

- ・ 入居者数23.5名を目指し、平均入居率94%を確保する。

【実施計画】

- ・ 清潔感のある住環境と、初めてでも「声をかけたい。」と思わせる雰囲気作りを行い、不快感を与えない接遇を心掛け、入居につなげる。
- ・ コロナにより疎遠となっていた、病院や事業所等との関係性を再構築する。

9. 小規模多機能型居宅介護サービス（つぼみ）

【年度目標】

- ・ 平均登録者数23人を確保し、安定した事業所運営を目指す。
- ・ 職員の知識・意欲を高め、日々のケアをより良いものにしていく。

【実施計画】

- ・ ご家族様や地域の方、他事業所、病院等からの問い合わせや相談に真摯に対応を行い、ご利用者様だけではなく、つぼみに関わる方皆様への心に寄り添う。
- ・ 外部研修や内部での全体研修、職員会議を利用した研修など、様々な知識を身に付けると共に、自分たちで講師を行うことで学習意識を高める。

【年間行事計画】

月	行事名	開催内容
4月	・ 花見ドライブ ・ 避難訓練（火災）	・ 桜の花を觀賞しながらドライブを楽しんで頂く。 ・ 夜間帯における有事を想定して訓練を行い、被害の拡大防止に備える。
5月	・ 菖蒲湯	・ 入浴利用の方に菖蒲湯を楽しんで頂く。
6月	・ ラーメンフェスタ	・ 本格的なラーメンを楽しんで頂く。
7月	・ 避難訓練（水災） ・ セタまつり ・ そうめん流し	・ 浸水を想定して訓練を行い、被害の拡大防止に備える。 ・ 短冊に願い事を書き、笹に取り付け、季節を感じて頂く。
8月	・ スイカ割り	・ スイカ割りを楽しんで頂く。
9月	・ 敬老会	・ ご利用者様の長寿のお祝いをする。
10月	・ 運動会 ・ 避難訓練（火災・地震）	・ 施設内で運動会を楽しんで頂く。 ・ 夜間帯の有事を想定して訓練を行い、被害の拡大防止に備える。
11月	・ 紅葉ドライブ ・ ラーメンフェスタ	・ 柳坂曾根のハゼ並木をドライブし、季節を感じて頂く。 ・ 本格的なラーメンを楽しんで頂く。
12月	・ クリスマスバイキング（クリスマス会）	・ クリスマスバイキングとゲームなどを楽しんで頂く。
1月	・ 初詣 ・ 鏡開き	・ 新年の祝いと1年の健康と幸せを祈る。
2月	・ 節分	・ 豆まきや恵方巻を楽しんで頂く。
3月	・ お花見	・ 桜や梅を見ながら春を楽しんで頂く。

※ 各月ごとに誕生会を開催するほか、行事とは別にご利用される方の要望や生活を大切にしながら、ドライブや料理、様々な取組を行っていく。

10. 職員研修

福岡県社会福祉協議会、久留米市サービス事業者協議会、久留米市等が主催する研修に参加する。また、すみれ・つぼみ連携して内部研修（ZOOM 活用）を実施する。

＜内部研修＞※6月・9月・12月・3月はすみれ/つぼみ、それぞれ単独で実施する

	内容	担当
4月	法人理念研修／接遇研修	理事長
5月	感染症・食中毒・ノロウイルスに関する研修	感染症対策委員会
6月	認知症に関する研修	ユニットリーダー
7月	緊急時の対応に関する研修（AED・心肺蘇生等）	外部講師
8月	権利擁護・虐待防止及び身体拘束に関する研修	つぼみ
9月	事故の分析・再発防止に関する研修	リスクマネジメント委員会
10月	感染症（新型コロナウイルス・季節性インフルエンザ等）に関する研修	感染症対策委員会
11月	防犯・防災・災害時に関する研修	防災委員会
12月	メンタルヘルスに関する研修	サブリーダー
1月	口腔ケアによる誤嚥・肺炎予防に関する研修	外部講師
2月	身体拘束等の適正化に関する研修	身体拘束排除委員会
3月	看取りケアに関する研修	看取りケア委員会
随時	新人教育プログラム、OJT 研修、階層別研修	

<外部研修>

内容	部署・人数
社会福祉法人役員研修	法人本部（１名）
集団指導	各事業所（１名）
指導力向上研修	すみれ（２名）
メンター研修	すみれ（２名）
新入社員スキルアップ研修	すみれ（２名）
高齢者虐待防止研修	すみれ（２名） つぼみ（１名）
身体拘束廃止に関する研修	すみれ（２名） つぼみ（１名）
苦情解決に関する研修	すみれ（１名） つぼみ（１名）
メンタルヘルス対策研修	すみれ（１名）
アンガーマネジメント研修	すみれ（１名）
ハラスメント研修	すみれ（３名）
感染症予防研修	すみれ（１名） つぼみ（１名）
介護技術向上研修	すみれ（４名） つぼみ（２名）
特定給食施設等研修会	すみれ（１名）
認知症対応研修	すみれ（３名） つぼみ（１名）
介護施設等看取り研修会	すみれ（２名） つぼみ（１名）
医療安全対策研修会	すみれ（１名）

1 1. 令和5年度予算